

日時 2016年10月5日(水) 19:00~20:30

場所 高知県立療育福祉センター

出席 西田 大崎 川上 小松 高野 山本(光) 山本(理) 若林 吉村 矢野(書記)

欠席 石川 横島

【検討・報告事項】

1. 研修会(研修部)

- ・10月16日(日) 10:00~13:10。会場は高知リハビリテーション学院。講師はエール薬局濱田篤秀氏、高陵病院看護師山脇光氏。参加申し込みは20名程度。講師費を準備する。

2. 高知県リハ職能三団体協議会の報告(地域福祉部)

- ・9月10日(土)に高知県訪問リハビリテーション実務者研修会、10月2日(日)に地域包括ケア推進リーダー導入研修が終了した。
- ・来年度事業案について県との話し合いを実施した。視察は地域ケア会議、介護予防事業とも予算内なら交通費支給可能とのこと。地域包括ケア推進リーダー導入研修会は三団体協議会主催だがPT、OTがそれぞれ独自に1日分科会として実施する。STは参加人数が少ないためPT、OTの基礎講座に参加後ST分科会を開催し終了書を発行してはどうか、という話になった。
→10月29日開催される県士会会長会議でどう対応したらいいか質問する。
- ・今年度の地域ケア会議視察は2か所(大分、埼玉)へ各士会から2名の参加を要請する。大分県杵筑市へは小松理事と他1名、埼玉県和光市へは西田会長と他1名。基礎研修を受け名簿へ登録している人から選出する。土佐市は高知リハか白菊園、須崎市は須崎くろしお病院、安芸・室戸市は小松理事、四万十市は西田会長。高知市は地域ケア会議の方法が違うので今回は見送る。10月中には参加メンバーを決定する。出張費は県から支給される。
- ・県は研修会運営費としてスタッフの日当支給を検討中。それが難しければ各県士会で補助金が出せるか検討してほしいとのこと。
- ・県主催でいきいき百歳体操地域づくりの活動ポイント研修会を市町村職員対象に実施予定。県士会会員も参加可能。

3. 訪問リハ三団体協議会の報告(西田会長)

- ・県の医師会から来てもらってディスカッションを行った。PT協会では震災特区、行政特区に訪問リハステーションを作っている。高知県でも運営ができるのであれば山間部で考えていくことになった。三団体協議会で各士会での考えを話し合うことになっている。具体的に検討されていく可能性あり。

4. 菅先生を囲む会(事務局)

- ・案内状を来週中に会員あてに送付する。教育部の案内を同送する。
- ・当日司会者は石川副会長にお願いする。
- ・記念品予算は旅行券2万円、花束3000円、写真立て1000円(当日の記念写真を入れて後日贈る)。
- ・講演テーマは菅先生と話して決める。

5. 第21回高知県言語聴覚学会

- ・一般演題締切は平成28年11月18日。抄録締切は平成28年12月23日。コメンテーター、座長を依頼。
- ・摂食・嚥下障害に対する急性期から在宅までのSTの役割と連携についてのシンポジウムを実施する。急性期、回復期、維持期、施設、在宅、教育部門から1施設ずつ。内容の詳細は実行委員会で検討する。小児部門を入れるかどうかも検討する。司会、総評は石川副会長にお願いする。
- ・学会案内を会員あてに送付し演題を募集する。
- ・協会への活動支援補助金申請済。

6. 会報(会報編集部)

- ・会報の発行が終了した。

7. その他

- ・療育センターが年内で使用できなくなるため、会議場所をいずみの病院で可能か検討してもらう。

以上